

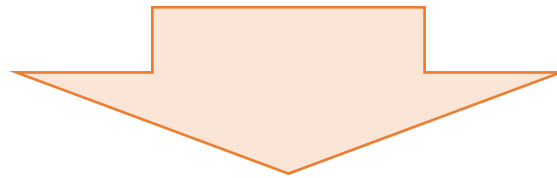
発熱患者増加期に向けた外来診療体制整備

「新型コロナウイルス対策医療関係者協議会」を開催(10月15日)

＜構成員＞ 県医師会、地区医師会、看護協会、保健所、県など

【体制整備に向けた方針を確認】

- ・身近なかかりつけ医で診療する体制を目指す
- ・検査体制の充実等を行う など



＜今後の方向性＞

➤ 地域で診療・検査を担っていただける診療所等をしっかり確保

➤ 検査体制を強化

- ・病院でのPCR,抗原定量検査体制の充実
 - ・診療所等と連携した検査センターの設置検討
 - ・民間検査機関の検査能力を積極的に活用 など
- ※鳥取大学発ベンチャー企業「RO(アールゼロ)」が米子市内に検査所を開設

➤ 発熱患者増加に備え、保健所の体制を再構築

- ・保健所の感染症担当職員は積極的疫学調査等を重点的に担当
- ・保健師OBや潜在保健師等の活用、看護協会との連携を強化 など